

地方独立行政法人那覇市立病院

平成26事業年度の業務実績に関する評価結果

平成27年7月

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会

<年度評価の方法>

本評価委員会において、地方独立行政法人那覇市立病院の平成26事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

(評価の基本方針)

- (1) 評価は、中期目標・中期計画の達成状況等を踏まえ、法人の業務運営等について多面的な観点から総合的に評価を行い、評価を通じて法人の継続的な質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通じて、法人の中期目標・中期計画の達成に向けた取組状況を市民に分かりやすく示すものとする。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価をもとに、業務実績に関する法人からのヒヤリング等を通じて、法人による自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた達成状況を確認した。また全体評価では項目別評価結果等を踏まえつつ、中期計画等の達成状況について総合的な評価を行った。

なお、平成26事業年度の評価にあたっては、昨年度に指摘・要望等を行った項目について、改善状況等を確認した。

<地方独立行政法人那覇市立病院平成26事業年度の業務実績に関する評価結果>

第1 全体評価

1 評価結果

平成26事業年度の業務実績に関する評価については、「市民に提供するサービスその他の業務の質に関する事項」及び「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の2つの大項目評価について、「A評価」（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。）と判断した。

2 全体評価に当たって考慮した事項

(1) 「市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の大項目においては、常時、小児科医及び脳神経外科医を配置した365日、24時間救急医療体制を維持してきたこと、地域医療機関との連携を示す紹介率、逆紹介率ともに目標値を達成し、昨年度より実績が向上しており、地域の医療機関との連携が定着していることを評価した。

また、がん患者を対象とした外来化学療法を拡充したこと、安心・安全で良質な医療を提供するため院内感染対策が徹底されていること、医療機器の拡充及び業務体制の見直しによって検査・手術待機期間等の短縮を達成したことを評価した。

- (2) 「業務運営の改善及び効率化に関する事項」の大項目においては、後発医薬品を積極的に採用し使用目標値（数量）を大きく上回っていること、診療報酬明細書を厳密にチェックするとともに査定の内容分析及び対策を実施することにより、全国平均に比べ大幅に低い査定率を維持していることを評価した。

第2 大項目評価

1 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 評価結果

「A 評価」（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。）

(2) 判断理由

小項目評価結果の集計結果（＜第2表小項目評価の集計結果＞参照）で「A 評価」（中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。）となる。下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、地域の医療機関と連携して、夜間・休日の医師等を確保し、常時小児科医及び脳神経外科医を配置した365日、24時間救急医療体制を維持している。また、地域医療支援病院として地域医療機関との連携を示す紹介及び逆紹介を積極的に促進した結果、目標値を達成し、地域の医療機関との連携が定着している。さらに、地域がん診療連携拠点病院として外来化学療法を拡充している。加えて、検査機器・装置などの医療機器を複数台導入するとともに当直対応の職員を配置するなど業務体制の見直しにより、検査・手術待機期間等が短縮されている。

評価対象の42項目全てが評価Ⅲ以上であったため、「A 評価」とした。

<第1表 大項目の評価方法>

大項目評価は、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の5段階により評価する。(地方独立行政法人那覇市立病院の年度評価実施要領3(3))

S: 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

(評価委員会が特に認める場合)

A: 中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。

(すべての小項目がⅢ～Ⅴ)

B: 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。

(小項目についてⅢ～Ⅴの割合が9割以上)

C: 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。

(小項目についてⅢ～Ⅴの割合が9割未満)

D: 中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

(評価委員会が特に認める場合)

【大項目評価に当たり考慮した事項】

小項目評価がⅣ(計画を上回って実施している)の項目の2件を含め、次の4件を評価した。

(注:()は小項目の番号を、[]は評価のウエイトを表す。以下同じ。)

ア 地域の医療機関との連携を強化し、地域医療支援病院の維持を図り、紹介及び逆紹介を積極的に促進する。

(11) [2]

紹介率及び逆紹介率ともに目標値を達成し、地域の医療機関との連携が定着している。

イ 医療機器の充実と業務体制の見直しを行い、検査・手術待機期間等の短縮に努める。

(29) [1]

検査機器・装置などの医療機器の複数台導入により、迅速な検査報告が可能になるとともに当直対応の職員を配置するなど業務体制の見直しにより、検査・手術待機期間等が短縮している。

ウ 地域の医療機関と連携して、夜間・休日の医師等を確保し、365日24時間救急医療体制の維持・充実を図る。

(1) [2]

地域の医療機関と連携して、夜間・休日の医師等を確保し常時、小児科医及び脳神経外科医を配置した365日、24時間救急医療体制を維持している。

エ 沖縄県がん診療連携拠点病院との連携を強化し、がん診療連携パスの利用を促

進ずる。また、外来化学療法及び放射線治療等のさらなる充実を図る。

(6) [2]

地域がん診療連携拠点病院として外来化学療法を拡充している。

<第2表 小項目評価の集計結果>

ウエイトを考慮した42項目のうち42項目全てが小項目評価のⅢ以上に該当していることから、小項目評価の集計では、「A評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる)となる。

分野	評価対象 項目数	I (計画を 大幅に下 回っている)	II (計画を 十分に実 施できて ない)	Ⅲ (計画を 順調に実 施してい る)	IV (計画を 上回って 実施して いる)	V (計画を 大幅に上 回って実 施してい る)
診療機能 の充実	27 (6)			26 (5)	1 (1)	
患者サー ビスの向 上	9			8	1	
合 計	36			34	2	
ウエイト 考慮後の 合 計	42			39	3	

注：() は、ウエイト付けした項目数である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

ア 小児科医及び脳神経外科医を配置した365日、24時間救急医療体制維持の目標を達成している。今後も体制の維持、充実に努められたい。(1)

イ 高度医療のための新しいシステムを導入していることは評価できる。引き続き医師等のスキルアップに努められたい。(4)

ウ 外来化学療法の拡充は評価できる。今後も地域がん診療連携拠点病院として緩和ケア認定看護師等の増員に努められたい。(6)

エ 地域の医療機関との連携が定着していることは大いに評価できる。今後も連携促進に努められたい。(11)

オ 継続的に看護職の専門的な資格取得の支援に努めていただきたい。(18)

カ 安心・安全で良質な医療を提供するため、院内感染対策が徹底されている。今後も院内感染対策の充実に努められたい。(22)

キ 検査・手術待機期間等の短縮を達成していることは大いに評価できる。(29)

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) 評価結果

「A 評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。)

(2) 判断理由

小項目評価結果の集計結果(＜第3表小項目評価の集計結果＞参照)では、「A 評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。)となっている。

下記の【大項目評価に当たり考慮した事項】で示しているように、後発医薬品を積極的に採用し使用目標値(数量)を大きく上回っている。また、診療報酬明細書を厳密にチェックするとともに査定の内容分析及び対策を実施することにより、全国平均に比べ大幅に低い査定率を維持している。

評価対象12項目すべてが評価Ⅲ以上であったため、「A 評価」とした。

【大項目評価に当たり考慮した事項】

小項目評価がⅣ(計画を上回って実施している)の項目の1件を含め、次の2件を評価した。

ア 適正な後発医薬品の採用促進により患者の負担軽減と法人の費用節減に努める。(40)[1]

後発医薬品を積極的に採用し使用目標値(数量)を大きく上回っている。

イ 診療報酬の請求漏れや減点を防止するとともに、未収金の未然防止対策と早期回収に努める。

(46)[2]

診療報酬明細書を厳密にチェックするとともに査定の内容分析及び対策を実施することにより、全国平均に比べ大幅に低い査定率を維持している。

<第3表 小項目評価の集計結果>

ウエイトを考慮した12項目のうち12項目全てが小項目評価のⅢ以上に該当していることから、小項目評価の集計では、「A 評価」(中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる)となる。

分野	評価対象 項目数	I (計画を 大幅に下 回っている)	II (計画を 十分に実 施できて ない)	Ⅲ (計画を 順調に実 施してい る)	IV (計画を 上回って 実施して いる)	V (計画を 大幅に上 回って実 施してい る)
事務スタ ッフの専 門性の向 上	2			2		
予算執行 の弾力化 と費用節 減	4			3	1	
収益の確 保	4 (2)			4 (2)		
合 計	10			9	1	
ウエイト 考慮後の 合 計	12			11	1	

注：() は、ウエイト付けした項目数である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

ア 後発医薬品使用率(数量)の目標を大きく上回ったことは大いに評価できる。

(40)

イ DPC/PDPSの機能評価係数を高めるよう努められたい。(45)

ウ 診療報酬明細書を厳密にチェックすることにより、全国平均に比べ大幅に低い査定率を維持していることは評価できる。(46)